

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会 2022(令和4)年度定時社員総会 議事録

1.開催日時:2022(令和4)年9月3日(土) 11:00~12:04

2.場 所:加瀬の会議室 新横浜第6会議室(神奈川県横浜市港北区新横浜3-19-11 加瀬ビル888階)
Web会議システム(Zoom ミーティング:ウェビナー)

3.社員総数 68名(議決権は、各1個)

出席社員数 48名(出席3名(内議長以外(役員2名)は議決権行使書提出)、
議決権行使書提出者数36、委任状提出者数9(議長9)

※オブザーバー(協会正会員および学生会員)出席者数0名

出席理事(社員) 河合俊宏(会長(代表理事))

出席理事 植田瑞昌

出席事務局参与(社員) 沖川悦三

書記 深野栄子(協会事務局)

議決権行使書:38名(出席役員2名+36名)

委任状:9名

欠席理事 伊佐拓哲、石濱裕規、江原喜人、岡野善記、桂律也、杉本昌子、
鈴木太、中村詩子、中村俊哉、早川康之、村田知之、森田千晶、山田賀久

欠席監事 赤澤康史、伊藤和幸

※アンダーラインはウェビナー参加

議事録署名人 植田瑞昌(日本女子大学)

沖川悦三(神奈川県総合リハビリテーションセンター)

4. 審議事項

第1号議案 2021年度事業報告(案)	【資料1】
第2号議案 2021年度決算報告(案)／監査報告	【資料2】【資料3】
第3号議案 2022年度事業計画(案)	【資料4】
第4号議案 2022年度収支予算計画(案)	【資料5】
第5号議案 自主行動基準(案)	【資料6】

5. 社員総会資料

資料1 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2021年度事業報告(案)

資料2 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2021年度決算報告(案)

資料3 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2021年度監査報告

資料4 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2022年度事業計画(案)

資料5 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2022年度予算計画(案)

資料6 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 自主行動基準(案)

6. 議事の経過の概要及び議決の結果

総会・理事会担当の江原理事より、本日の社員総会は定款第28条、29条により定数を満たしたので、有効に成立した旨(社員総会規則第2条第1項により、社員総会を招集した2022年8月10日時点での、社員数は68名。総会の参加者2名(内議長を除く1名は事前に議決権行使書を提出済み)、議決権行使書による参加者47名、有効な委任状による参加者10名、合計57名を告げたのち、河合会長が定款第27条の規定に基づき議長に就任し(定款第28条第4項 議長は、社員として表決に加わることはできない。)、開会の辞を述べた。

定款第 31 条第 2 項

「議長及び出席した社員の中から選任された 2 名の議事録署名人は、前項の議事録に署名又は記名押印する。」より、出席の代議員より議事録署名人 2 名を選出した。

審議は密接に関係する内容の第 1 号議案と第 2 号議案、第 3 号議案と第 4 号議案は一括説明とし、議案ごとに個別に決議することとした。

定款28条第 1 項

「社員総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、社員総数の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した社員の議決権の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の裁決するところによる。」

同条第2項

「前項の規定にかかわらず、次の決議は、社員総数の半数以上であって、社員総数の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。」

定款第29条第 1 項

「社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的方法により表決し、又は他の社員を代理人として表決を委任することができる。」

同条第2項

「前項の場合における前2条の規定の適用については、その社員は出席したものとみなす。」

第1号議案 2021 年度事業報告に関する事項

議長より社員総会資料 1 に基づき、その説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 47 票(出席代議員 2 名、議決権行使書 36 票※議長除く)、議長への委任状 9 票)、非承認 0、棄権 0

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

◆質問・意見等(敬称略)

田中芳則:

【資料 1】1 ページ「15 行目から一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT)の件」

一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT)と連動する意味は大きいと感じています一方で、協会が果たすべき案件を投げかけられている部分があります。委員会主導で協会として何ができるのか検討します。

→JRAT の Web サイトには[リンク]で構成団体に日本リハビリテーション工学協会(リハ工)が明記されています。この Web サイトではリハ工が具体的にどのように貢献してきているのか全くわかりません。本当に JRAT と連動する意味は大きいのでしょうか？JRAT からリハ工が果たすべき案件など、どのようなことを投げかけられているのかを理事長あるいは災害対策委員会担当理事が具体的に説明をお願いします。また委員会主導で何をどこまで検討しているのかを説明してください。

■回答: ご質問いただきありがとうございます。

現在、予想を超える自然災害に見舞われています。身近な浸水、地球の反対での火山爆発、日々対応を考える必要があり、協会としても常設の委員会としました。早川担当理事には、協会の委員会ととりまとめに加え、JRAT 理事会へのオブザーバー参加や、地域 JRAT での理事活動に関して、協会として動いていただいています。また、桂副会長には JRAT の協会からの理事として、理事会での情報共有、意見交換を行っていただいております。さらに災害時福祉用具等提供 WG でも中心的に活動を頂いています。石濱理事は広報委員会・地域 JRAT 組織化支援委員会・局地災害地域リハ移行 WG 会合など、理事であった金井氏には、継続性を鑑み、研修企画委員会において、JRAT 自体の活動には欠かせない立場で活動されるなど、委員会から積極的に JRAT に参加もされています。

一方、JRAT での協会会員の参加・活動には課題もあります。JRAT では都道府県の地域 JRAT が主体となって、災害時の活動、平時の活動が行われるシステム構築を進めていますが、協会は複数の都府県にまたがる支部単位での活動となり、参加の方法などについて検討中です。地域 JRAT では、平時の研修に関して今後活

発化していくことが予想されますが、研修における福祉用具支援の工学的な側面や、避難所、仮設住宅への工学的支援など、協会が関わるべき内容は多いと考えます。また、平時からの教育・啓発に加え、発災時に JRAT の一員として工学的支援活動ができる人材育成も必要となります。

理事会として共通認識まで展開できる余裕が無いので、協会の皆様に活動が広く伝わっていないことに関しては、代表理事として改善してゆきたいと思います。急性期的な対応が終わった後に、どう生活再建の支援が出来るかということは、個々の会員にも、実行していただきたい事ですし、そのすべきこと、いわゆるミッションステートメントに関しては、直ぐ必要だけれども、準備する余力もない、といった状況と判断しています。

生命には直結しないから関係ないと思う協会員はいないと思います。自らの専門性と共に、協会員として、さらに、協会員としてのネットワークを使えるよう、進めてゆきたいと思っています。

委員会に関しては、協会誌の特集、連載記事に加えて、報告をしてもらうようにしたいと思います。

◆質問・意見等(敬称略)

田中芳則:

【資料 1】1 ページ「30 行目から個人情報管理の問題の件」

対策はまだ十分に完了しておりません。継続して実施していますので、あらためてご報告します。

→現時点での報告をお願いします。

■回答: ご質問いただきありがとうございます。

会員のみなさまにおかれましては、この度のことで、ご迷惑とご心配をおかけしたこと、まことに申し分けありません。

現時点での対策状況について質問にお答えします。

会員番号に関しては、ご案内させていただいているように、2 月から変更しているのは御案内の通りですが、個人情報漏洩再発防止に向けて、各自会員で個人情報管理が出来るような会員管理システム導入を検討していきます。

◆質問・意見等(敬称略)

田中芳則:

【資料 1】3 ページ「2-2. 福祉機器コンテスト関連 2)福祉機器コンテスト 2022 の件」

学生部門に関しては応募数が書かれていません。応募数をお教えてください。また総会議事録にはその応募数の明記をお願いします。前年度や今年度との増減の比較のために応募数を明記することは必要だと思います。

■回答: ご質問いただきありがとうございます。

協会の年度区切りもあり、6 月 30 日応募締め切りは、総数把握が 2022 年度事業となります。つまり来年度に報告すべき案件です。

ちなみに既に表章式は終了しておりますので、先駆けて報告しますと、応募作品は 16 件(会員 0 件、非会員 16 件)となります。

昨年度開催された福祉機器コンテスト 2021 学生部門の応募作品は 19 件(会員 3 件、非会員 16 件)でした。

◆質問・意見等(敬称略)

田中芳則:

【資料 1】4 ページ 13 行目 第 3 査読中 1 件

→「第 3 査読」とは?この意味がわかりませんので、お教えてください。

■回答: ご質問いただきありがとうございます。

査読期間を短縮するために、主査・副査という査読制度を採用しています。

学術団体ではしばしばみられる方法でもあり、主査・副査とで査読結果が異なる場合は、3 人目の査読者に査読依頼することで、決定をしています。一般的には第 3 査読と呼びますが、閉じた学術団体的な用語であれば、解説をつけるなどの工夫を以後はしたいと思っています。ご指摘ありがとうございます。

◆質問・意見等(敬称略)

田中芳則:

【資料 1】7 ページ 16 行目から「2-8災害対策関連 2)災害対策委員会の常設及び 運営と大規模災害時の協会の対応の件」

JRAT 活動については、理事会…(省略)などに委員が参加し、積極的な活動を行っている。

→具体的な活動についてお教えてください。リハ工学協会の Web 上でも JRAT の Web 上でもそれが全く分

かりません。2019 年度の第 3 回災害対策セミナーが最新情報でした。活動の内容を Web 上〔情報公開〕や〔委員会〕項目の中で紹介してほしいです。例えば毎月 1 名がオンラインにより JRAT 活動に参加し、どんなことが論議され、決議されたとか、またその報告書を参加した委員からリハ工学協会へ送っているなど、公開できる情報だけでもいいので活動がわかるようにしてほしいです。

■回答:ご質問いただきありがとうございます。

情報発信については、今後、可能な範囲での公開を検討いたします。ただし、JRAT での情報開示が十分にはされていない状況ですので、協会からの発信には制限があることをご理解いただきたいと思います。

なお、2021 年度の JRAT の各委員会活動への委員の参加の詳細を説明いたします。本日は口頭で説明いたしますが、文面でわかるよう報告を予定しています。

理事会 3 回、研修企画委員会 3 回、広報委員会 5 回、地域 JRAT 組織化支援委員会 4 回、局地災害地域リハ移行 WG 2 回、東京都 JRAT キックオフミーティング 1 回、災害時福祉用具等提供 WG 6 回、といった活動をしました。以前は、協会誌上において、定期的に JRAT の理事会・委員会参加報告と会議の要旨を掲載しておりましたが、近年は掲載できておりません。事業委員会である災害対策委員会として、定期的に会員に対して活動状況を開示報告していくことを検討したいと考えております。

◆質問・意見等(敬称略)

田中芳則:

【資料 1】8 ページ 28 行目「3-4. 応報・渉外 3) Web 管理委員会」

・ Xserver Drive にデータ移行

→バックアップのために移行したのでしょうか。具体的にお教えてください。

■回答:ご質問いただきありがとうございます。

これまで協会ではデータ共有場所として、Dropbox 無料版を使用していました。このサービスは各理事の使用環境によっては、容量を超えるケースもあり、スムーズなデータ共有が出来ませんでした。そのため、協会に関わる全てのデータ保存先として、新たに Xserver Drive を契約し、現在では協会のデータ保存場所として利用しています。

導入後は、スムーズなデータ保存等ができています。

【会場からの質問・意見等(敬称略)】

なし

第2号議案 2021 年度決算報告(案)／監査報告

議長より社員総会資料 2・3 に基づき、その説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 47 票(出席代議員 2 名、議決権行使書 36 票※議長除く)、議長への委任状 9 票)、非承認 0、棄権 0

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

◆質問・意見等(敬称略)

田中芳則:

【資料 2】16 ページ損益計算書

8 行目【一般会費収入】 5,508,000 円

→この一般会費収入についてお尋ねします。【資料 1】の 2 ページ 5 行目に正会員数 597 名となっておりますが、一般会費収入は 5,970,000 円にはなっていません。40 名以上の正会員が未納入か未払いということでしょうか。またそれに対する対策について教えてください。

また【資料 2】の 19 ページ 9 行目の貸借対照表、未収入金 380,000 円が一般会費収入に該当するでしょうか。お教えてください。

■回答:ご質問いただきありがとうございます。

未納ということですが、未納者に対しては、振込用紙の送付・協会誌の配送停止という段階的な対応をとっています。

参加イベントを増やすことで、会員番号入力をするこでの確認、協会誌送付時のタックシールでの告知が、現

状出来ることです。対面イベントを増やせばよいとは思えないので、今後の課題とします。

また以降は、ご指摘通りです。

※未収入金は、前納をお願いしている賛助会費、購読サービス料等の未納分です。事務局で把握して納入のお願いをしています。(事務局のわかる範囲で回答を追記しています。)

第3号議案 2022年度事業計画(案)

議長より社員総会資料4に基づき、その説明がなされた。

【修正】

- ・【資料4】25ページ下から10行目 誤植
(誤)第36回リハ工学カンファレンス
(正)第36回リハ工学カンファレンス

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 46票(出席代議員2名、議決権行使書35票※議長除く)、議長への委任状9票)、非承認0、棄権1

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

◆質問・意見等(敬称略)

上村数洋:

34ページ5)2021年度支部役員体制とある2021年は前後の流れから見ると2022年ではありませんか?

■回答:関西支部の2021年度は、2022年度となります。併せて、前頁の中部支部の2020年度も2022年度となります。

◆質問・意見等(敬称略)

上村数洋:

これまでも同じように書かせていただいたことがありますが、今回の支部役員体制の中に同企業・系列からの複数数名の方が入っていることに懸念を感じています。

■回答:ご意見ありがとうございます。

懸念されているような、同じ企業から複数名の支部役員が入っていることで、当該企業への利益誘導や、その他の企業の排除等の支部運営をゆがめるようなことは、これまでありません。また、今後も、支部の運営がゆがめられる事の無いように努めて行きます。どうかご安心ください。

支部活動は、協会の理念に賛同いただき、地域を盛り上げていこうという個人に参加いただいています。よってどうしても、結果的に協会の理念に賛同いただいている企業や機関に所属する会員に支部活動へ参画いただく事が多くなる傾向にあります。

役員への参加は広く門戸を開けております。様々な立場の皆様からの積極的な参加をお待ちしています。

◆質問・意見等(敬称略)

田中芳則:

【資料4】25ページ7行目「1-1.リハ工学カンファレンス関連」

第36回リハ工学カンファレンスが終了しましたが、口頭発表演題数が前回よりも大幅に減ったことの原因や検討をしてほしいと思います。ちなみに口頭発表数は前回は84件で今回は29件でした。

また参加者数がどのくらいあったのか、事業収入的には赤字ではないかと思われませんが、それについて今後どのような対策をとっていくのか、お教えてください。

■回答:ご質問いただきありがとうございます。

まず、第36回リハ工学カンファレンスは2022年度事業となり、開催報告については来年度に報告すべき案件です。また、これまでの対面のカンファレンスであれば、カンファレンスの日程の中で総会を開催しているため、総会開催年度のカンファレンスの詳細はお伝え出来ませんでした。今年度の第36回リハ工学カンファレンスについては先日終了しております。ただいま報告書の取りまとめ作業中ですので、解る範囲でお答えします。参加者数を教えて欲しいとのことご指摘ですが、速報値でお示します。

第 36 回 演題数39 参加登録 カンファレンス 99 名 オープンカンファレンス 130 名 市民公開講座 65 名。内 オープンカンファレンスと 市民公開講座は無料イベントです。なお、前回の第35回 は演題数 74 参加登録 173 名が正しい数字となります。

現在、カンファレンス終了直後であり報告者をまとめている段階ですので詳しい検討はその後となりますが解っている範囲でお答えします。演題数及び参加者の減少については、第 36 回 リハ工学カンファレンスは、他の学術大会が対面開催を表明する中、早い段階からオンライン開催を決めたこと。LIFE(生活支援工学会・ライフサポート学会・機械学会)が、同日による北海道で対面開催を予定していた事が要因として上げられます。LIFE の日程が重なったことについては、リハ工学カンファレンスの方が先に日程を決めており、関係各所にお知らせしていましたが、他学会の日程決定の経緯はわかりませんが、「カンファレンスの日程を勘違いしていた」と、個人的には聞いています。また、早くにオンライン開催を決めたことについては、対面で予定していた他の学術大会がコロナ感染症拡大に伴い、開催方法を直前に変更するなどの対応を余儀なくされたことを鑑みると、基礎疾患の多い当カンファレンス実行委員会の決定は間違っていないと考えています。代表理事として、カンファレンス実行委員会の皆さんの決定力、深い洞察力を、誇りに思っています。

なお、リハ工学カンファレンスはこれまでも、会って、ものを見ながら深い議論をする事が非常に大きな特徴です。コロナ禍により、それが十分に果たせていないことが、参加者数・演題数減少の本質的な原因と考えています。なるべく早く、リハ工学カンファレンスの対面あるいはハイブリッド開催を目指したいと考えています。みなさまと対面で会える日を心待ちにしています。

◆質問・意見等(敬称略)

田中芳則:

【資料 4】25 ページ 27 行目 誤植「1-2. 福祉機器コンテスト関連」

(誤)発表・表彰(予定):第 36 回リハ工学カンファレンス from 中国・四国支部内のプログラム

(正)発表・表彰(予定):第 36 回リハ工学カンファレンス from 中国・四国支部内のプログラム

■回答:ご指摘ありがとうございます。修正いたします。

【会場からの質問・意見等(敬称略)】

なし

第4号議案 2022 年度予算計画(案)

議長より指名され財務担当理事より社員総会資料 5 に基づき説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 47 票(出席代議員 2 名、議決権行使書 36 票※議長除く)、議長への委任状 9 票)、非承認 0、棄権 0

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

◆質問・意見等(敬称略)

田中芳則:

【資料 5】9 行目<会費収入>

10 行目一般会費(今年度分)

→昨年度に比べ、正会員数がわずかに増加しましたが、いずれも収入が減る見込みでの予算計画案になっています。この理由をお教えてください。

■回答:ご質問いただきありがとうございます。

退会未納につき除名(自然退会処理)という一定数があり、収入は未収ということになります。

また、昨年はわずかに会員が増えています、ここ数年は会員が減少傾向でした。昨年の会員増が、今後の会員の増加傾向をしめしているのか、一時的にたまたま増えたのかは、今年度だけでは解りません。全体の労働人口が減っていくなか、爆発的に会員数が増加するとも考えにくい事からこのような予算計画となりました。なお、会員サービスは停滞することのないように、理事会の対面開催を最低限にして維持しています。

財務担当理事からの回答を読み上げます。以前、私が財務担当をする前の予算編成では新規入会者の人数目標が高い状態でした。現実に合わせて形に違和感が無いよう予算収入を減らしてまいりました。今期予算も

新規入会者 50 名で達成される予算収入です。答えとしては、例年に比べ予算編成を見直し収入の見直しをはかった結果、収入の見込みを修正した結果と考えております。

【会場からの質問・意見等(敬称略)】

なし

第5号議案 自主行動基準(案)

議長より社員総会資料 6 に基づき、その説明がなされた。

規則担当理事より補足説明あり。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 47 票(出席代議員 2 名、議決権行使書 36 票※議長除く)、議長への委任状 9 票)、非承認 0、棄権 0

【会場からの質問・意見等(敬称略)】

なし

以下、総会で説明はしていないが、回答のみ掲載。

◆質問・意見等(敬称略)

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対するの回答】

◆質問・意見等(敬称略)

松尾清美:

コロナ禍の中、これまでにない苦難を背負っての協会活動に敬意を表します。福祉機器の発展と障害者や障害児、高齢者、そして障害はないが一時的に不便を感じている人などのために良い道具、自立促進、介護負担軽減のための道具を開発普及していきましょう！

■回答:いきましょう！ 今後とも変わらぬご指導をお願いいたします。

◆質問・意見等(敬称略)

小林博光:

総会の議決も選挙と同様にオンラインで行ってみたいはいかがでしょうか？郵送費も手間も削減できそうです。

■回答:ご承知の通り、現行の法人法では、総会全てをオンラインで行う事は認められておりません。

しかしご指摘通り、議決権行使書の返送方法など、総会の一部だけでもオンラインにする方法もあるかと思えます。どの部分を省力化が図れるかや、運用面や、費用面とあわせ、今後の検討課題とさせていただきます。

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の 2022(令和 4)年度定時社員総会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(12 時 04 分)

以上の議事の内容及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に記名・押印する。

2022 年 9 月 3 日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2022(令和 4)年度定時社員総会

議 長 河合俊宏 ㊟

議事録署名人 植田瑞昌 ㊟

議事録署名人 沖川悦三 ㊟